

公募助成「腎不全病態研究助成」研究サマリー

研究名称	CKD 患者におけるサルコペニア肥満と骨代謝障害の病態の関連性、治療法に関する研究
氏名	川田泰伸
所属機関	山口県済生会豊浦病院
<p>慢性腎不全維持血液透析患者において、活性型ビタミンD（ロカルトロール）を6ヶ月間投与し、開始前、3ヶ月後、6ヶ月後で評価を行う。</p> <p>主要評価項目は、4m-walking test、握力テスト、腹部CTで第3腰椎レベルでの大腰筋筋肉面積、大腿部のCTによる大腿筋肉量の測定、内臓脂肪面積。副次的評価項目としては、血液中のCa, P, PTH, FGF23, 血液生化学検査、CBC, インスリン、血液蛋白分画、各種サイトカイン濃度(IFNγ, IL1β, IL4, IL10, TNFα, TGFβ1)、ミオスタチン濃度の測定を行う。</p> <p>研究仮説としては、活性型ビタミンDの投与により、骨代謝に対する影響だけでなく、筋肉や内臓脂肪に対する改善効果も認められ、そのメカニズムとして、各種炎症性サイトカインの筋細胞への影響が考えられる。</p>	